

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援ひだまり				公表日	令和8年3月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・法令を遵守したスペースを確保しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・子どもの理解に合わせて必要な場合には課題をする部屋や遊ぶ部屋を分けるなど空間の構造化ができるようにしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・室内は子どもの注意集中のため unnecessary な飾りつけはせず、必要な情報を取り入れやすいシンプルな環境にしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・個別支援が基本なので個別で部屋を使用することができています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	・日々のミーティングに加え、月例ミーティングを行い改善に努めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・アンケートの結果を共有し、改善に繋がるよう話し合いをして対応しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・月例ミーティングを行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		・現在は第三者による外部評価は行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・障害特性についてや評価について、また虐待防止などの研修を行っております。外部研修への参加も積極的に進めています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・ホームページに公表しております。内容については職員全体で共有しており、それに基づいた作成を行っております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	・職員間でのアセスメントと定期面談での保護者とのモニタリングを踏まえて計画書を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・計画書の作成会議には基本的に職員が全員参加しており、子どもの目標や情報の共有を全員で行っております。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・計画を意識しながら、職員間で情報共有を密に行い支援を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・フォーマル、インフォーマルなアセスメントをどちらも使い、マクロな視点ミクロな視点両方から分析を行っています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・計画作成の時にガイドラインの項目を確認しながら、具体的な支援内容を設定しております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・行っています。		

児 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・職員同士で教材や遊び等の情報共有をしたり、講習会等に参加したりして子どもの状態に合った内容を考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・午前の療育終了後や閉所後に支援に対しての子どもの様子等の振り返りを行い次の目標や支援内容の改善点、次回の具体的な遊びについてどうするか等話し合っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・記録をとる時間を確保しており、それぞれ担当の子どもの記録を残しています。支援の検証や改善にもつなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・児童発達支援管理責任者もしくは担当保育士が参加しており、普段の様子をよく知り保護者とのやりとりを行っている職員が出席しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・協力医療機関とは定期的に交流をさせていただいています。保護者の方や園から要請があれば訪問して支援プランを一緒に考えたりしています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	・こちらから園に子どもの評価やかかわりをお手紙でお伝えしたり、園から先生が見学に来られたりして情報共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	・就学前に小学校に子どもの情報共有のための会議に参加したり、子どもの評価や支援についてまとめたものをお手紙としてお渡ししたりすることで情報共有を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	×	×		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	×	×		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	×	×		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	5	・地域の発達支援センターとの連携を図ってはおりませんが、外部の勉強会等でスーパーバイズや助言を受ける機会を設けています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		・保育園や幼稚園に通いながら通所されている子が多く、交流する機会をあえて作る必要がないため機会をつくっていません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・保護者同席での支援のため、療育中に子どもの状況を共有できるようにお話しています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0		・プログラムとしてのペアレント・トレーニングは行っていますが、個別療育の中で保護者に情報提供をしています。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・計画書を作成する前に必ず保護者面談を行い、子どもの支援についての目標や希望を共有し、それを踏まえた計画にしております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5		・集団療育の中で保護者同士でやりとりをされているようですが、事業所として積極的に支援することはできておりません。今後検討しています。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・ご要望があれば面談の場を設定したり通所時にお声かけをしたりするようにしています。状況によりお電話での対応も行っています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・定期的に通信を発行したり、ブログを更新したりすることで発信しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	・こちらから招待することはありませんが、地域の行事運営に携わったり、町会の活動に参加したりすることで地域に受け入れてもらっています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	・予防接種の確認は行っておりません。服薬やてんかん発作については、初回面接でお聞きしており、定期的に確認をしています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・医師の指示書に基づく対応ができていないかはわかりませんが、保護者へのアンケートを行いアレルギー対応を行っております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	0	5		・保護者と一緒に来ていただく施設であり、現在身体拘束が必要な状況もないため行っておりません。